

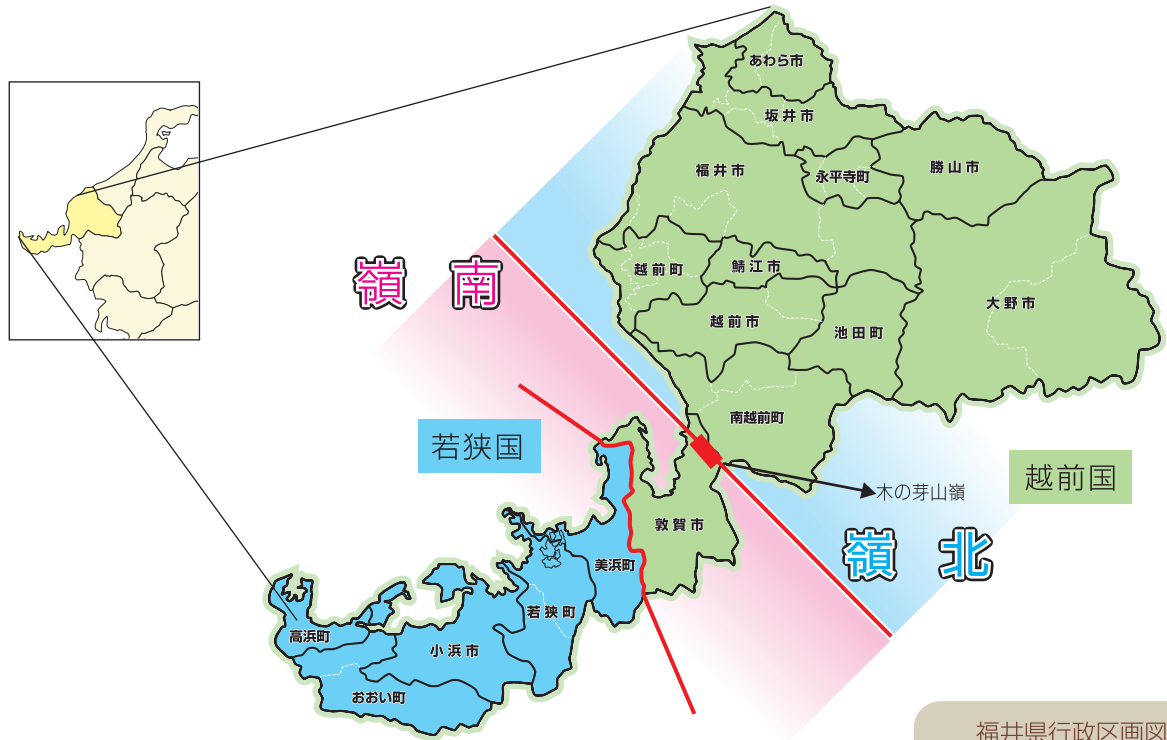
福井県のあらまし

福井県の位置と行政区画

福井県は、本州日本海側のほぼ中央にあって、石川県、岐阜県、滋賀県および京都府の4府県に接しています。敦賀市東部の木の芽山嶺を境として、北を嶺北、南を嶺南と呼んでいます。

福井県は、昔の越前国と若狭国からなります。その境域については、白山の山頂および山麓牛首郷は古来越前国大野郡に属していましたが、藩政時代からその所属をめくり加賀藩との間に争いがあり、明治5年の政府の裁定により石川県所属に決定しました。

また、大野郡石徹白村は、昭和33年に三面、小谷堂を除き岐阜県白鳥町に越県合併しました。



福井県行政区画図
(平成18年3月31日現在)
9市8町
4,189㎢

福井県ができるまで (概略)

越前国 若狭国	幕府領	明治3年 12月22日 本保県						
	福井藩 [320,000石]	明治4年 7月14日 福井県						
	丸岡藩 [50,000石]	7月14日 丸岡県	明治4年 11月20日 福井県	明治4年 12月20日 改称 足羽県				明治23年 5月17日 府県制公布
	大野藩 [40,000石]	7月14日 大野県			明治6年 1月14日 敦賀県	明治9年 8月21日 石川県 (嶺北7郡)		明治14年 2月7日 福井県
	勝山藩 [22,000石]	7月14日 勝山県						
	鯖江藩 [40,000石]	7月14日 鯖江県						
	敦賀藩 [10,000石]	明治3年 3月19日改称 鞠山藩	9月27日 小浜藩	7月14日 小浜県	11月20日 敦賀県		8月21日 滋賀県 (嶺南4郡)	
	小浜藩 [103,500石]							明治24年 8月1日 府県制施行

● 福井県の市町村数の変遷

年・月	福井県の市町村数				全国の市町村数	備考
	市	町	村	計		
明治21年	0	248	1,742	1,990	71,314	
《明治の大合併》 教育、徴税、土木、戸籍等の行政を行うのに適した人口規模にするため、約300～500戸を標準規模として、全国的に実施された町村合併。						
明治22年末	1	9	168	178	15,859	市制町村制施行
昭和22年5月	2	17	151	170	10,499	地方自治法施行
昭和28年10月	4	18	128	150	9,868	町村合併促進法施行
《昭和の大合併》 戦後、市町村の事務とされた新制中学校の設置管理を行うのに適した人口規模にするため、概ね8000人を標準とし、町村数を約3分の1に減少することを目的として、全国的に実施された市町村合併。						
昭和36年6月	7	21	13	41	3,742	
昭和46年9月	7	22	6	35		
《平成の大合併》 住民の日常生活圏の広域化や地方分権の進展に必要な行財政基盤の強化を図るため、全国的に実施された市町村合併。						
平成18年3月末	9	8	0	17	1,821	

資料：福井県市町村課

【福井のあゆみ】

西暦	和年号	
507		越前坂井に育った継体天皇が即位。（『日本書紀』）
1243	寛元 1	道元、越前志比庄に来る。翌年、大仏寺（後の永平寺）を創建する。
1471	文明 3	朝倉孝景、越前守護となる。本願寺蓮如、吉崎に道場を建てる。
1574	天正 2	越前一向一揆が蜂起する。
1774	安永 3	小浜藩医杉田玄白ら『解体新書』を出版する。
1858	安政 5	橋本左内、福井藩主松平慶永の命を受け上京。
1899	明治 32	敦賀港が外国貿易港に指定される。
1932	昭和 7	福井市に世界初の人絹取引所が開設される。
1945	昭和 20	福井、敦賀に空襲。
1948	昭和 23	福井地震。全壊家屋 33,000 余戸。死者 3,800 余人。
1962	昭和 37	北陸トンネル開通する。（全長 13.87 km）
1968	昭和 43	福井国体開催される。
1969	昭和 44	日本原電敦賀発電所で臨界式。
1992	平成 4	福井県立大学が開学する。
2004	平成 16	福井豪雨災害おこる。

【福井藩の石高の変遷】

西暦	和年号	石 高
1600	慶長 5	結城秀康、越前国 68 万石に封ぜられる。
1624	寛永 1	越後高田城主松平忠昌（秀康三男）、50 万 5 千石に封ぜられる。
1686	貞享 3	6 代藩主松平綱昌、病気のため領地没収。5 代藩主昌親が新知 25 万石で再封。
1749	寛延 2	一橋家から重昌 30 万石で襲封。
1818	文政 1	2 万石加増され 32 万石。